大口町史

大口町立図書館蔵書

受入	58. 3. 5
登録	6629

題字

大口町長

大竹喜久雄

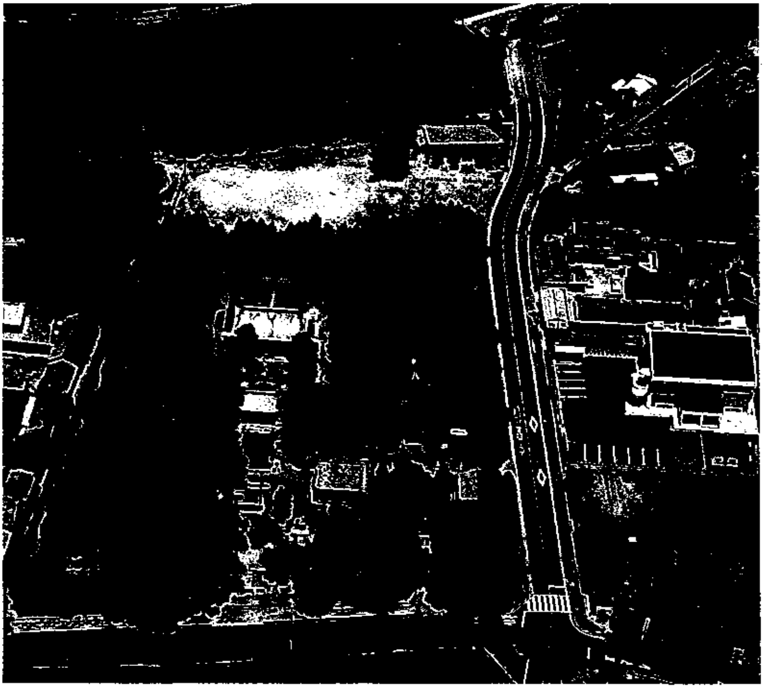
桜並木

南西から北東を望む
〈撮影〉昭和56・8・24午前11時　〈高度〉700メートル

空から見た大口町

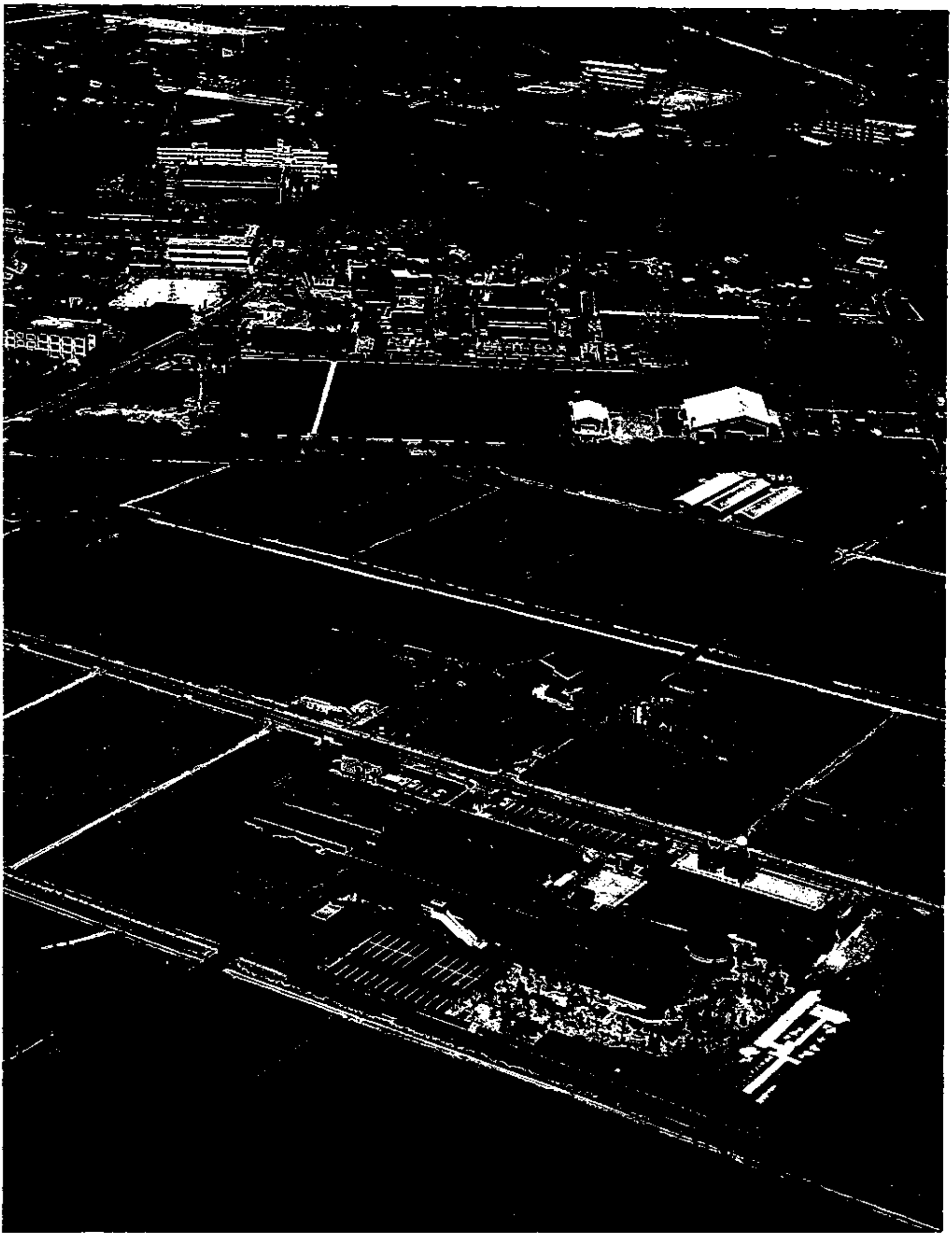
大口の遺跡

▲大久地城址



▲堀尾吉晴邸址

伸びゆく大口



▲大口町総合福祉会館

発刊にあたって

大口町は、木曽川によってつくられた肥大な土壌の上に、平和のなかにもきびしい農民生活が営まれ、古い歴史をもった由緒ある地域であります。

こうした中にあって郷土の先人たちは、幾多の苦難に耐え、今日の発展の基礎をつくってきました。とくに、戦後は新しい社会、新しい農村への脱皮、さらには周辺地域より押し寄せる都市化への大きな波による変貌など、まことに目を見張らせるものがあります。

この時にあたり、昭和五七年に迎える町制二〇周年記念事業の一環として、町史の編さんを企画いたしましたところ、五か年の長期にわたり綿密な資料調査と学問的な分析により、町民と血のかよった「大口町史」が、ここに発刊されることになり、まことにご同慶のいたりと存じます。

これによって町民各位が、この町史を座右に備えられ、古きをたずねて新しきを知り、町勢の発展と家運の隆昌に資せられんことを希望してやみません。

終りにのぞみ、本事業の推進に格別なご尽力をいただきました大学の先生方や、各委員の方々、ならびに貴重な資料をご提供くださいました町内外のみなさまに対し、心から敬意と感謝を申し上げ、発刊のご挨拶といたします。

昭和五七年 一一月

大口町長　大竹喜久雄

序

郷土を愛する根幹は、まずその歴史を知ることであります。

さきに町制二〇周年記念事業の一環として、町史編さんが企画されましてから五か年の年月が経過いたしました。昭和五一年七月町史編さん準備委員会、つづいて同年八月編さん委員会が設立されて以来、当時の愛知教育大学教授水野時二先生、愛知学院大学教授林董一先生のご指導のもと、編さんに当たっての基本方針を、つぎの三点といたしました。

一、大口町に関する貴重な資料の所在を明らかにし、その散逸を防ぐこと。

二、現在の大口町を生みだすまでの潜在力が、どんなものであったかを理解できるようにすること。

三、昭和一〇年「大口村誌」が上梓されたが、世相の大きな変貌により、今回は史的観点に立って、これを検討、編集し、平易で町民に愛される町史にすること。

しかしながら資料の収集・発掘などに、なお力およばず、十分に満足する結果を得るところまでにはいたりませんでした。今後さらに町民のみなさんの手によって、この町史の内容が一層豊かになることを願ってやみません。

ともすれば近代文化に目がくらみ、郷土の過去が忘却されようとする現代世相でありますが、この町史から先人の生き方を学び得て、郷土の発展にいささかでも役立つならば、この上もない幸せと思います。

終りになりましたが、発足以来情熱を傾けて、この事業に直接たずさわっていただきました各位と、ご多忙のなか、

わざわざ足を運び、貴重なご意見、ご助言を賜わりました多くの方々に対しまして、深甚の敬意と謝意を表して序といたします。

昭和五七年二月

大口町教育長　江口正矩

凡例

○本書は、さきに発刊された大口村誌(昭和一〇年発刊)を基本とし、昭和五五年までの変遷について記述したが、事柄によっては、史・資料に基づき時代をさかのぼり、あるいは内容の補充を行った。

○本文の記述は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いた。

ただし固有名詞、歴史用語についてはこの限りではなく、また必要に応じてふりがなを付けた。

○年時は、日本年号を主として、(　　)に西暦年数を示した。

○史料については、原文のまま記載した。

○人名は、原則として敬称を省略した。

○図・表は、編ごとの通し番号とし、頭数字は編を示した。

○民俗編については、古老の話を中心にまとめ記述した。

○各種の数表は、その多くを役場資料に基づいた。

目次

口絵
桜並木／空から見た大口町／大久地城址／堀尾吉晴邸址／大口町総合福祉会館
発刊のことば
序
凡例
第一編　自然環境
第一章　位置・面積・地形・地質……三
第一節　位置・面積……三
概況／位置／面積
第二節　地形・地質……七

地形／地質／尾張丘陵／沖積地／土性・河川

第二章　気　候……一三

第一節　気　温……一四

概況

第二節　風……一五

伊吹おろし

第三節　降水量……一六

第三章　水資源……一八

第一節　木曽川……一八

第二節　地下水……二〇

豊かな地下水／被圧地下水の帯水層

第三節　水　質……二一

河川／用水の水質汚濁防止／飲料水の水質保全

第四章　動・植物……二三

概況
第一節　動　物……………………………………二四
獣類／鳥類／魚類／昆虫類／貝類／生息の様子
第二節　植　物……………………………………二八
平地の樹木／町指定の樹木／樹木にまつわる話
第五章　自然災害……………………………………三三
概況／災害年表／入鹿池堤防決潰／濃尾大地震／明治四五年の降雹
大正元年の暴風雨／昭和三年の凍霜害／昭和九年の暴風雨
伊勢湾台風／災害古記録

第二編　歴　史

第一章　原始・古代……………………………………五七
第一節　先土器時代……………………………………五七
尾張の先土器文化／大口町の先土器文化

山間／荒井出土の握斧／西山神遺跡
有舌尖頭器と柳葉型尖頭器
第二節　縄文時代……七〇
遺跡の分布／下林／地蔵堂遺跡の押型文土器
北替地／下林／垣田／西山神／中原／南山／西浦／東薮山
神明下の各遺跡
第三節　弥生時代……八六
尾張の弥生文化／ムラの発展／東樋田のムラ／中五反田の遺跡
石製の大工道具／向江遺跡の堅穴式住居
清水・大御堂遺跡／弥生の銅鏡・銅鐸
第四節　古墳時代……一〇三
尾張の古墳／桜塚／道心塚／仏鬼塚／大日塚／山王塚／大塚
しょうねん塚／いわき塚／東屋敷／神福神社／白木／新田／白山
城山／善光寺／石亀塚の各古墳
住居址と遺物／土製の鈴と犬
第五節　律令国家時代……一一五
概観／大口の開発と農耕の進展

第二章　中　世……一三〇
第一節　鎌倉時代……一三〇
概観／生活／寺院と神社
第二節　戦国時代……一三四
大久地城／生駒氏／堀尾茂助吉晴の活躍
中島左兵衛尉／寺沢志摩守広高
第三章　近　世……一四九
第一節　村の支配……一四九
概況／村の支配／尾張藩／村方役人／農民の統制
蔵入地と給地／宗門人別改メ
第二節　新田開発……一六四
概況／伝右エ門／八左エ門／宗雲新田／二ツ屋新田
第三節　用水の開発……一七一
概況／木曽川／入鹿池／入鹿用水／木津用水／五条川
古書による川と池／用水管理と水利

第四節　貢租・検地……一八一
概要／貢租／検地／慶長の検地／見取所／検地帳
第五節　村の生活……一九四
概要／農民の階層／農業の様子
第六節　交　通……二〇二
概況／尾張地方の街道／木曽街道／大口の街道／織田街道／その他の道
生活との結びつき／助郷村の状況／善師野宿の起り／交通量／藩の助成
善光寺街道／善師野宿の盛衰／人口
第七節　宗　教……二二八
概況
第四章　近　代　史……二三四
第一節　明治・大正時代……二三四
第一項　行財政……二三四
村の分合と機構の概況／財政／租税／人口と戸数／戸籍法と身分制の廃止
歴代村長名／議会と議員／郡制と郡会議員／参事会員／県制と県会議員
村の経済と金融

第二項　産　業……………………………………………二六〇
農業の概況／水利と用水管理／耕地整理／養蚕／農会／産業組合
地租改正／金融／商・工業の概況／水車
第三項　兵　制……………………………………………二九三
徴兵制／戦役／在郷軍人会／尚武会／忠魂碑
第四項　交通・通信……………………………………………三〇一
運輸の概況／道路／鉄道／木津用水通船の歴史／通信の概況
第五項　教　育……………………………………………三一二
寺小屋／入塾／明治時代の教育／大正時代の教育
大口第一・第二尋常高等小学校／実業補習学校
青年訓練所／大口村青年団／少年団及び少年赤十字団
第二節　昭和時代……………………………………………三五一
第一項　農　業……………………………………………三五一
経済恐慌下の農村／戦時下の農業／戦後の農業／農作業と生活
第二項　行財政……………………………………………三七七
行政・財政の概況／人口の推移／職業構成
戦時下の概況／国家総動員法／戦後の行政／財政と税制／戦後の生活

第三項　教　育……四〇一
戦時教育への道／国民学校の発足と戦時体制／青年学校、
戦時下の児童と学校／勤労奉仕／学童疎開／空襲下の学校教育
新学制の成立／勤労教育／教育の民主化／教育委員会
公民館活動／青年学級／社会学級

第三編　現　状

第一章　概　観……四三七
第一節　大口町の姿……四三七
町制施行／町章／庁舎の建設／名誉町民条例／人口の動態／世帯の推移
第二節　都市化の進行と住宅の増加……四五〇
都市化と土地利用／都市計画審議会／住宅の増加
第二章　産業の発展……四五八
第一節　工業の推移……四五八

第二節　農業の変貌……四六三
概況／地域的性格／新農村建設事業／兼業化／農地の減少
稲作と栽培の変化／米価／機械化／肥料と農薬／農業構造改善事業
米の生産調整／そさい園芸／畜産／果樹／養蚕の現況
農業協同組合／ライスセンター／有線放送／農業共済事業
農業委員会／木津用水土地改良区／用水とその効用
荒井の杁／濃尾用水／合瀬川／五条川の改修／矢戸川／岩倉用水事業
第三節　商業と消費生活……五一八
商業の推移／消費の動向／省エネルギー・省資源への対応
第三章　行財政……五二七
第一節　行政……五二七
改革／充実／機構／選挙／選挙管理委員会／町議会
広報と広聴活動／警察と治安／消防／防災体制の強化
交通安全／交通安全推進協議会
第二節　財政……五五八
財政の推移／歳入／歳出／税制の変革

第三節　総合計画……五七〇
概要／事業計画／字区域及び地名変更
第四節　生活と福祉……五八七
第一項　福　祉……五八七
社会福祉／社会保障の充実／児童・老人福祉／国民年金制度
交通災害と共済／民生委員制度
第二項　衛　生……五九七
環境衛生と公害対策／し尿処理／ごみ処理／下水道／
合瀬川の清流をとりもどす会／河川の浄化と水質対策
第三項　保　健……五九七
保健衛生と行政／住民検診／医療機関と保健施設／保健婦の活動
国民健康保険事業／診療所／母子健康センター／開業医
第四項　水　道……六一八
簡易水道／町営水道／水道企業団
第五項　文化生活……六二三
文化生活への移行／食生活／衣料／住居／町民の所得／テレビとラジオ

第四章　発展する交通・通信……六二八
第一節　交　通……六二八
道路とその発展／国道／県道／町道／農道／交通機関の整備／バス路線／車輌の変遷
第二節　通　信……六三九
郵便／電信／電話／有線放送
第五章　教育の向上……六四三
第一節　学校教育とその拡充……六四三
第一項　新教育の再検討……六四三
教育の自立／教育推進の機関／教育財政の推移
第二項　施設の整備・拡充……六四八
整備の状況／給食の充実／高等学校の新設
第二節　幼児教育の充実……六五八
保育所の変革と充実
第三節　社会教育の拡充……六六五

社会教育と公民館活動の進展／財政基盤／体育活動／家庭教育学級
社会教育の現状／社会教育審議会／図書館／総合グランド
青年団活動の消滅／婦人会活動／社会教育講座の概要／青少年問題協議会
子ども会／Ｐ・Ｔ・Ａ／スポーツ活動／体育協会／指導委員会
文化活動団体／文化財保護審議会／学習等共同利用施設

第六章　宗　教……七〇〇
第一節　神社と寺院……七〇〇
概況／神社／寺院
第二節　民間信仰……七二三
概況／各種信仰

第四編　生活と文化

第一章　民　俗……七四五
第一節　衣・食・住……七四五
概況／衣類／食物／住居／生産

第二節　習　俗……七五五
概況／産育／婚姻／年祝い／葬祭
第三節　年中行事と農耕儀礼……七六〇
概況
第四節　村　役……七七二
第二章　伝　承……七七五
第一節　伝　説……七七五
伝説／民話／山姥物語／汗かき地蔵／ヤロカ水／お千代保故里の宮
小口神社の山柿／梶原宗安の太刀
第二節　方言と言い習わし……七八一
方言／言い習わし
第三章　地　名……七八一
第四章　文化財……八一〇
第一節　文化財……八一〇

第二節　遺跡・名所……八二四
第一項　城址に関するもの……八二五
第二項　寺院に関するもの……八二八
第三項　その他……八三一
第四項　名　所……八三四
第三節　古文書……八三五
大久地古事記／その他
第五章　人　物……八三八
織田広近／堀尾吉晴／仙田半耕／酒井椿渓／花橋春渓／田山地久七／野田正昇
丹羽伊三郎／社本仁左ェ門／酒井覚郎／赤堀禅稲

資　料

尾張徇行記……八五一
年　表……九二五

参考文献……九四八
編さん後記……九五〇